

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 鹿嶋市立鹿島中学校 】

1 実践テーマ	I・III
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象学年（講演会：全学年 15学級 495名） （競技体験：2学年 5学級 162名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（ 道徳科 ） ② 行事名（ パラリンピアンを知ろう ） ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの歴史について話を聞いたり競技を体験したりすることによって「平和でより良い世界」とは何かを考える機会とする。 ・パラリンピアンを招聘し、障害者スポーツの実践から共生社会についてみんなで話し合う。
5 取組内容	<p>【事前学習】</p> <p>7～9月…講師の先生、事業計画書及び内容等を決定した。また全校生徒による意識調査を行った。</p> <p style="text-align: center;">落合啓士 氏 プロフィール</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 300px;"> <p>神奈川県出身。10歳で難病を発症し、18歳で視覚障害者に。25歳でブラインドサッカーに出会った。ブラインドサッカー日本選手権では3連覇を含め4度優勝。2003年に日本代表に選出。その後はアジア・世界選手権に出場。2013年日本代表主将に就任。</p> </div> </div> <p>10～11月…ブラインドサッカーに関する調べ学習や映像を見て、競技の仕方やルールを確認した。</p> <p>また具体的な練習方法を市教育委員会と確認し練習メニューの作成を行ったりチーム編成をしたりして準備を進めた。</p>

12/12木…オリパラ教育推進事業実施。

- 競技体験はルールの確認やパス、ドリブルの練習を行い後半から12チームに分けてミニゲームを行った。

競技体験の様子



講演会の様子



- 講演会は全校生徒が参加した。内容はブラインドサッカーを始めたきっかけや競技を通じて得たもの等、体験談を中心として進められた。競技をする周囲の人々の気持ちになって声を掛け合う大切さに気付くことができる貴重な話を聞いた。また多くの生徒がパラリンピックに興味、関心をもてる機会となった。

【事後学習】

12～1月…2回目の意識調査やアンケート・感想等を行った。またブラインドサッカーに関連するアンケートを実施し、生徒が感じたものを把握した。

- ①2学年による事後アンケート及び感想等の振り返り。
- ②全校生徒による2回目の意識調査。
- ③ホームページ・事業報告書の作成。

6 主な成果

◇目標達成について

- オリパラ推進事業を行ったことで、人と人のつながりを大切にするとどのようなことなのか考える絶好の機会となった。
- 障害を抱えている人の立場を知り、共に生活しようとする「共生社会」のあり方について考えることができたことは貴重な体験となった。

落合氏と札校長



	<p>◇アンケート調査からわかったこと</p> <p>① ブラインドサッカーの認知度 (よく知っている人156人中 8人) ↓ (興味をもった人156人中 130人)</p> <p>② 実際に視覚的な障害を体験してどう思ったか ・もどかしかった人156人中 63人 ・おそろしかった人156人中 69人</p> <p>③ 主な感想 ・相手に合図をしてパスをすることは大変難しかったがその体験から、相手に伝えることの大切さに気付くことができた。</p> <p>・他のパラリンピック種目に興味が出てきたので調べてみたい。またオリパラが始まったら、調べた種目に注目したい。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>※ 地域の特性を生かした種目選択</p> <p>鹿嶋市はサッカーが盛んな地域でオリンピックサッカー種目の会場でもある。そこでパラリンピック種目にも関心の高まりそうなブラインドサッカーを選択し、地域の特性を生かそうと考えた。予想通り子どもたちは関心をもって取り組めた。</p> 
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市教育委員会の支援のおかげで充実した活動となった。熱心にサポートしていただける組織との連携は必須である。 事前にもう少しルールについてよく確認することが必要だ。ボールの中にある鈴の音が重要なので、声をかけ合うルールをきちんと理解したい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 推進事業の継続は未定であるが、来年度以降も校内イベントとして実施していく予定である。2学年に限定せず全学年で取り組む予定である。 保健体育科の授業に取り入れようとする計画も出ている。購入したボールを有効に活用したい。